



## 細木病院

# 新こころのセンター長就任のご挨拶と 「ストレスケア外来」開設のご案内



こころのセンター長  
まね せ まさよし  
峯瀬 正祥

令和7年10月1日より、吉岡隆興前センター長の後任として、こころのセンター長を拝命いたしました。就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

細木病院精神科は、平成9年に細木病院精神神経科から細木ユニティ病院として分離開院、その後、令和元年に細木病院と細木ユニティ病院が再統合することにより、細木病院こころのセンターとして改組された経緯があります。時代に合わせた

精神科として、組織変更され、現在は、総合病院有床精神科としての役割を担っております。また、将来の人口動態を鑑み、令和7年10月1日に入院病床を3病棟141床から2病棟110床へとスリム化し、将来の安定した精神科医療体制の構築を図ろうとしています。

これまで、こころのセンターでは、思春期、成人期、

老年期と、それぞれの人の一生の中での一連の精神疾患に対応した医療を提供してきました。その中で、医師、看護師だけでなく、精神保健福祉士、公認心理師・認定心理士、作業療法士・理学療法士などのスタッフが治療に参画し、それぞれが経験を積んできたことが、当センターの強みであると考えます。

そのような強みを

活かし、本年9月に働く方を主な対象とした、「**ストレスケア外来**」を開設しました。ストレスケア外来では、専門医による診察・治療以外に、心理士によるカウンセリング、院内のトレーニングジムを活用した心身の健康づくりや、生活・仕事復帰や各種制度の手続きへのサポート等を経験豊富なスタッフが対応することで、仕事とこころのバランスを取り戻せるようにサポートさせていただいています。

「ストレスケア外来」は、当センターでの新たな取り組みですが、その他にも、難治性・緊急性の高い疾患に対する修正型電気痙攣療法、難治性統合失調症に対するクロザピン治療、認知症の根本原因にアプローチする認知症修飾薬での新たな治療拡充など、これまで当センターで対応できていなかった治療や、地域で暮らす精神障害の患者さんに対する地域包括ケアシステムの構築なども行っていく必要があります。当センターに課せられた課題は山積みです。

経験豊富なコメディカル職員とともに、これまでの私の精神科単科、総合病院精神科での過去の経験を活かし、また、新たな知見を獲得することにより、細木病院こころのセンターでの精神科医療の充実という重責を果たすべく頑張りたいと考えております。皆さまよりの、今後の、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

このような方へおすすめです

- 仕事のストレスで心身ともに疲れている
- 毎朝、職場に向かうのがつらい
- 集中力や意欲が落ちてミスが増えた
- 職場の人間関係に悩んでいる
- これからの働き方やライフスタイルを見直したい
- 誰にも相談できずに一人で抱えている

HOSOGI HOSPITAL NEWS

### 「ストレスケア外来」開設しました！

こころのセンター  
新センター長 精神科医  
峯瀬 正祥

～仕事とこころのバランスをとるために～  
「朝起きるのがつらい」「ミスが増えてしまった」「上司や同僚との関係に疲れている」「休みの日も気が休まらない」そんな日々が繰り返している方、現代の働く人は、知らず知らずのうちにストレスを溜めこんでいる可能性があります。細木病院では、仕事や日常生活の中で感じるこころの不調に着目した「ストレスケア外来」を新たに開設しました。

当外来で行っていること

- ①精神科専門医による診察  
気持ちの落ち込み、不安、不眠などの症状を診断し、必要に応じて薬物療法や心理療法の提案を行います。\*精神科医が診察し、必要に応じて薬物療法を行います。
- ②カウンセリング(臨床心理士・公認心理師)  
職場でのストレス、モチベーションの低下、これからの働き方などについて相談・アドバイスを行います。
- ③心と身体の健康づくり(作業療法士)  
院内のトレーニングジムを活用した運動や、様々な作業活動を通してサポートします。
- ④生活・仕事復帰のサポート(精神保健福祉士)  
休職・療養の手続きや生活保護受給者の相談、復職準備金、就業前などの準備など丁寧に対応いたします。
- ⑤必要に応じて他科と連携  
聴覚・視覚・消化器など、身体面の不調がある場合には内科科とも連携して診療を行います。

ご相談のみでも構いません。まずはお気軽にお電話ください

ご予約・お問い合わせは  
細木病院 こころのセンター(1階)TEL:088-802-3366  
初診受付:水曜日午後 TEL:088-802-3366

完全  
予約制

ストレスケア外来ポスター

精神科・心療内科  
ページはこちら↓



時  
エッセー

# 地球温暖化を実感

今年の冬の最大の寒波が日本列島を襲い、高知も西部地方では、平地でも雪が舞った。城西公園の横を流れる江ノ口川の鴨も寒そうに泳いでいる。吐く息も白く見えて、今朝は寒いなあと感じた。日課の犬の散歩を、いつものようにして、フツと感じたことがあった。最近、「寒い、寒い」と言っても、城西公園の池に薄氷が張っているのを見たことがないし、霜が降りたり、霜柱が立ってくのも見かけなくなった。今から70年以上前の私の子ども時代、小学校の校庭の水溜まりには必ず薄氷が張って、履いていた長靴で氷をバシャバシャと割りながら遊ぶのが冬の日課になっていたことを思い出す。確かに最近、氷が張ったり、霜が降りることが少なくなってきた気がする。昔は、暖房設備も不十分で、教室には何も暖房設備はないのが普



仁生会理事長  
細木 秀美

通だった。子どもたちは運動場に出て、駆けっこや飛び馬や縄跳びなどに夢中になって、自分たちが動いて暖を取っていた。子ども用の手袋がない友人は、親のものを借用して来ていた。確かに、最近の地球は暖かい方向に向かっている気がしてならない。土佐は特に暖かくて零下まで温度が下がっても、昼過ぎには暖くなる日が多い。函館の友人が高知を訪れた時、彼は外にいるときでもコートを脱いでいたので「寒いだろう」と聞くと、「温かい」と言っていたことを思い出した。そういえば、サケが取れる北の寒い地方で、温かい所で捕れる鯖が取れ始めたり、昨今、明らかに異常気象が起こっている気がしてならない。地球温暖化を実感するなあ。しかも、今夏はものすごい暑さにへきえきしたなあ？（2025年2月5日執筆）

アドレス・  
高知

## 秋晴れに笑顔が咲いた「秋祭り」

10月5日は、未明も雨が降っており、みなさん晴れることを願っていたと思います。朝6時頃から雨が上がり、無事にアドレス・高知の秋祭りが開催されました。施設内では、利用者さんのいつもの支援と朝食後のテーブルの片づけ、駐車場では、ご来場者の休憩場所のテント張りや誘導案内表示やアドレス・高知の紹介版の掲示、ごみ箱の設置など、目まぐるしく職員が準備しました。

今年は地域交流をテーマに、事前に、施設から南に見える望海が丘団地世帯と近隣に案内チラシを配布し、



駐車場会場

駐車場の会場では、四万十ふれあい動物村ブレイメンさんや、キッチンカーの「いか焼きさっちゃん」「き

らり工房」「ハレノ・チーズケーキ」「チタパン」の4店舗に来ていただき、秋祭りを盛り上げていただきました。予想を上回る来場者

数で、駐車場も混雑しました。利用者さんもお家族さんと過ごしたり、キッチンカーでお買い物をしたり、動物とふれあったりととても楽しそうでした。

施設内のホール会場では、瀧川鯉朝師匠（高知県出身の真打ち）による落語、三里中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏、マスタージャックさんによるマジックショーが披露され、みなさん釘付けになっていました。

地域の皆さんと一緒に、“秋のひととき”を楽しむことができたアドレス・高知の秋祭りでした。

（アドレス・高知 事務員 鍋島美月）



三里中学校吹奏楽部





細木病院

## 市民の命と健康を守るために 地域医療連携による高知市災害救護訓練実施

**令和7年10月5日、大規模災害時において「市民の生命と健康を守る」ため、救護病院を中心とした上街・小高坂地域の医療救護体制を構築することを目的に、高知市災害救護訓練が実施されました。**

近隣医療機関の田中整形外科病院、高知整形・脳外科病院また近隣の調剤薬局も参加し、高知市保健所【高知市保健医療調整本部】の指揮下に入り、当院では168名の職員が災害活動を展開しました。

災害シナリオでは、マグニチュード9.0最大震度6強の大きな揺れと大津波警報が発令され、ライフラインは水道・ガス・電気は不可という設定でした。訓練の流れでは、災害対策本部を立ち上げ、災対本部長（院長）の指揮に従い被災状況報告書を集約、訓練目的の地域市民の生命を守るため傷病者の受け入れを判断、トリアージエリア、赤エリア（最重症群）黄色エリア（待機治療群）緑エリア（軽症者）を立ち上げ初療から入院、広域搬送、田中整形外科への入院依頼調整などを実施しました。また、愛宕病院DMATの受援も経験し、DMAT隊の役割を知る機会となり、そのうえで協働し連携することの必要性も認識できました。今回の訓練では時間軸が設け

られ、災害発生時30分の初動体制と災害発生後24時間後という時間軸での設定があり、時間で変化する災害対応について考えることにつながりました。

この訓練には訓練アドバイザーの参加もあり、近森病院救急部長井原先生から講評をいただきました。当院の課題としていたハード面の評価では、安全管理を軸としたエリアの使い方で、レイアウト的にエリア展開・拡張が難しいところをスムーズな動線構成、外来椅子での簡易ベッド作成など工夫されたものだったと評価をいただきました。また、当院独自で作成した災対本部における被災状況シート、病院アセスメントシートは非常に優れたものと評価をいただき「情報収集、情報共有、情報伝達」には妥協せずいかに情報が見える化に取り組んだ成果だと考えます。

まとめでは、**細木病院を中心に上街・小高坂地域の医療救護体制が実際に稼働する姿を確認できたことは、地域全体の大きな成果とも評され、今後も「市民の生命と健康を守る」ことを忘れず日頃から地域と連携していきたいと思います。**

（災害救護ワーキング副ワーキング長 柏井早生吏）



細木病院は、公益財団法人日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成しています。



細木病院

## 日本医師事務作業補助者協会 全国学術集会 門田臨床支援課長が大会長を務める



大会長講演を行う門田臨床支援課長

10月19日、高知市文化プラザ「かるぽーと」において、日本医師事務作業補助者協会第14回全国学術集会が開催され、細木病院臨床支援課長の

にA Iが着実に浸透しつつあることを実感しました。最後のシンポジウムでは、現在の地域医療の現状と変化を共有しながら、臨床支援士が果たすべき役割を改めて認識し、今後のあるべき姿と、その実現に向けた方策についても考えさせられる内容でした。

さらに、今回高知に足を運んでくださった参加者の皆様へのおもてなしとして、細木病院グループチーム「ほそぎ」による「よさこい演舞」を披露していただきました。美しい衣装に彩られた舞、胸に響く力強い音楽と口上、そしてフラフの豪快なさばきに、会場は一気に華やぎ、笑顔と拍手が広がりました。

今回の学術集会が、参加者の皆様にとって実り多き時間となったことを、心より嬉しく思います。全国各地からご参加くださった皆様、そして準備・運営にご尽力いただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学術集会の開催にあたりご協賛いただいた多くの企業・団体の皆様にも、心より御礼申し上げます。細木病院長をはじめ、たくさんの皆様の温かなご支援とご協力のもと、無事に学術集会を終えることができましたことを、改めて感謝申し上げます。

(臨床支援課長 門田美紀)

門田美紀が大会長を務めさせていただきました。大会長として、「**変わりゆく地域医療と臨床支援士の役割～未来への挑戦～**」をテーマに掲げ、全国各地から多くの方にご参加いただき、知見を深めるとともに、参加者同士の交流を促進する貴重な機会となり、活気あふれる一日となりました。

当日はまず、大会長講演として、私自身の経験と課題意識をもとに、地域医療の変化と臨床支援士の役割についてお話しさせていただきました。続いて、厚生労働省

医政局医事課 医師等医療従事者働き方改革推進室 市川貴之氏による特別講演では、医師の働き方改革のさらなる推進に向け、医師事務作業補助者に期待される役割についてご講演いただきました。医学講演では、医療法人治久会 もみのき病院 森木章人院長による「人生100年時代を迎えて」と題し、認知症診療の現状と展望について貴重なお話をうかがいました。そのほか、一般演題においては多彩な発表がありましたが、なかでも医療DXに関するセッションは参加者からの関心も高く、医療現場



もみのき病院森木院長による医学講演



シンポジウムのパネリスト4名



チーム「ほそぎ」よさこい演舞でおもてなし



優秀演題賞受賞者の皆様と記念撮影

細木病院

## 終活セミナーで「人は血管とともに老いる」講演

10月2日、こうち男女共同参画センターにて、ベルモニー葬祭高知が主催する終活セミナーが開催され、当院の山本哲史循環器内科部長が「人は血管とともに老いる」の講演を行いました。

定員を上回る申し込みがあり、会場からは①心臓リハビリとして個人で行うならどんな運動をしたらいいのか⇒会話が可能で、少し息が上がる程度の散歩がよいでしょう。②子どもの頃に心臓の雑音を指摘されたが大人



山本医師による終活セミナー講演の様子

になった今でも通常の外来で診てもらえるのか⇒可能です。③健診でコレステロールを指摘された場合の外来受

診のタイミングはどうしたらいいのか⇒すぐに受診しても検査値の変化は望めないの、ある程度生活習慣（食事、運動、禁煙など）を見直してから受診することをお勧めします。など活発な質疑応答があり、参加者の関心の高さがうかがえました。

動脈硬化で起こる高血圧症や虚血性心疾患、心不全や脳卒中などを予防するためにも血管を若々しく保つこと、それには生活習慣を整え、当院の心臓リハビリテーションでも取り組んでいる運動も重要であること、各疾患の具体的症状や検査、治療方法などを説明して早期発見の必要性も講じました。

また当ハートセンター（TEL088-822-7211）は24時間365日救急対応可能なので「救急車を要請した際は細木に連れて行ってと言ってくださいね」の再三の合言葉に会場は笑いに包まれ、終始和やかな講演となりました。今後も出前講座を通じ、地域貢献に尽力してまいります。

（在宅部副部長 廣田明美）

細木病院

## 介護の実際が「職場」で分かる!? NTT西日本高知支店内の講座に講師で伺いました

高知市にあるNTT西日本高知支店内では「介護コミュニティ」と題して、社内の従業員向けに外部から講師を招き、介護保険や認知症に関する講座を定期的に行っています。

9月18日の講座は私たち「地域包括支援センター（以下支援センター）」に講師の白羽の矢が立ち、二つのテーマで講義をさせていただきました。まず「移乗動作の実践」は、理学療法士の資格を持つ筆者と、サービス付高齢者住宅「イチゴいちえ」の施設管理者／理学療法士の大泉太一氏と共に、ベッドからの起こし方や車いすへ移る時のサポート方法。参加者にも実践していただき、理解を深めていただきました。



自身の介護体験の思いを語る中居主任（中央）と筒井CM（右）

後半の「介護経験者の声を聞く」では、支援センターの中居主任と筒井ケアマネジャーが、両親の介護の実

体験を詳しく話し、参加者は真剣に耳を傾けていました。終了後のアンケートでは「楽しくわかりやすい説明を聞けて良かった」「実際の声が聞ける貴重な機会をいただけて、とても参考になりました」との意見が書いてありました。



移乗動作の体験を行う参加者

日中、勤務されている方からみると、介護相談を受け付けている所は時間に制限があり、週末は空いていないことが多いようです。私たち支援センターは、休みなく対応できる体制を構築しています。また、企業に出向いての講座も多数開講しています。個別相談でも職場にお伺いできますので、困ったときはぜひご連絡ください（TEL088-871-5963）。

（在宅部支援センター 生活支援コーディネーター／理学療法士 廣田淳也）





細木病院

## 肥満症外来を開設！ (完全紹介予約制)

高知県内初

肥満症と聞くと皆さんはどのようなイメージを持たれるでしょうか？おそらく太った人、というイメージを持たれる方が大半ではないかと思います。厳密に言えば「肥満」とは、ただ単に太った状態を指しますが、「肥満症」となると「肥満」によってさまざまな健康障害が引き起こされた状態を指します。肥満により内臓脂肪の蓄積や、骨格への負担が大きくなると糖尿病、高血圧、脂質異常症、関節症などの臓器障害が引き起こされてきますが、こうなった状態が「肥満症」と定義されています。

肥満に伴う臓器障害は、わずか3～5%の体重減少でも大きく改善するともいわれていますが、なかなか自分の意志だけでの減量は難しく、かといって肥満症に対して有効な薬もこれまでなかったのが現状でした。ところがこの度、肥満症に非常に有効な薬が2剤使えるようになり、肥満症を薬で改善させることのできる時代になりました。**ただ、この薬の使用には非常に厳密な施設要件が定められており、高知県で保険診療で使用できる要件を満たした施設は当院を含め5施設しかなく、現状では肥満症外来を行っている施設はありませんでした。そこでこの度細木病院では11月より肥満症外来を週に2日開設することとなりました。**

ただ、肥満症外来といっても、いきなり薬を使えるわけではなく、食事栄養指導や運動療法の指導を半年以上にわたって当院で実施した上で、効果不十分な方にのみ

薬の使用が認められています。また、その他にも糖尿病、高血圧、脂質異常症のいずれかの薬物療法を受けている人など、使える患者さんの要件が定められておりますので、肥満症外来に関してはかかりつけの医師からの完全紹介制とさせていただきます。肥満症治療に興味のある方はかかりつけの医師にご相談の上で当院への紹介をしてもらってください。

地域の先生方におかれましては、肥満症でお困りの患者さんがおられましたら、当院ホームページにご紹介いただく手順など載せておりますので、そちらをご参照いただいた上で当院、地域連携室までご連絡をいただけますと幸いです。（内科副科長 篠原雅幸）

HOSOGI HOSPITAL NEWS

### 「肥満症外来」開設のお知らせ

2025年11月4日より、当院にて「肥満症外来」を開院いたしました。完全紹介予約制

本外来は、肥満に起因する健康障害の予防・改善を目的とした医学的減量治療を行う専門外来です。以下のいずれかに該当する場合に、治療対象となります。

肥満症治療薬（「ゴリビ」「セップバウンド」）の適用条件

- BMI35kg/m<sup>2</sup>以上で高血圧、脂質異常症、糖尿病のいずれかで内服治療を要する
- BMI27kg/m<sup>2</sup>以上で高血圧、脂質異常症、糖尿病のいずれかで内服治療を要する
- 肥満に関連する健康障害が2つある（当院ホームページ肥満症診療チェックシート参照）

治療の基本は減量ですが、目標はBMIの正常化ではなく、内臓脂肪の減少による合併症の予防・改善です。疾患ごとに適切な減量目標を設定し、個別に対応いたします。

また、肥満症治療薬「ゴリビ」「セップバウンド」の処方には、日本肥満学会のステートメント（2023年11月25日開催）に基づき、当科通院開始後6か月以上食事、運動療法を行なったのち、主治医が適応ありと判断した場合に限り開始いたします。

診察日：毎週月曜午後、木曜午前（完全紹介予約制）  
対象：詳細はホームページをご確認ください

●近隣機関の先生方へ●  
糖尿病・高血圧・脂質異常症などで通院中の患者様をご紹介いただくには、診療報酬収受および紹介状・ホームページ上のチェックシートのご準備をお願いいたします。  
●お問い合わせ先●  
ほろろ入退院サポートセンター TEL0120-80-8682

社会医療法人 仁生会  
細木病院  
当院のホームページはこちら

詳細はこちら↓



細木病院

## 看護部副部長に就任しました



看護部副部長  
伊賀原 由香

1993年に細木病院に入職、当時12病棟という整形外科単独の病棟に配属させて頂きました。その後、療養病棟、DPC病棟、回復期リハビリテーション病棟、外来、地域包括ケア病棟、地域包括医療病棟を経て、この度、看護部副部長を拝命することとなりました。

今、振り返ると、私自身、病院の転換期に必ずその場所にいました。回復期リハビリテーション

病棟が立ち上がった際に師長代理で、外来に異動した時にはERがスタートとなり、次に新3病棟に異動になった際には内科系・外科系のDPC病棟になり、そして、ハートセンター設立時には、自身、循環器疾患はほぼ素

人。日々、頭を悩ますこととなりました。しかし、先生方をはじめ、他職種のスタッフ、新3病棟のスタッフに支えられ、軌道に乗せることができたと思います。そして、最後は地域包括医療病棟へ異動となりました。どの病棟においても良い思い出がありません。地域包括医療病棟で看護師人生を終わるのかと思いきや、自分がまさか、看護部副部長になるとは思いもかけませんでした。

今後、看護職を取り巻く環境が変わる中、質の高い看護を提供していくために自分自身に何ができるのか、はっきりとはわかりませんが、岡崎看護部長をはじめ藤原看護部副部長、中平教育師長と共に、患者・家族、地域そして職員から『この病院でよかった』と思われる病院にしていきたいと思っています。そのためには、看護部職員、他職種の皆様にもお力をお借りすることになります。微力ではありますが、今後ともご指導よろしくお願いします。



令和7(2025)年12月予定			月		火		水		木		金		土
			午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前
本館 1階	内 科	1 診	中村寿宏 (糖尿病外来)	小野寺真智	中村寿宏 (糖尿病外来)	品原正幸	中川 治	森下美智子 (リウマチ膠原病)	小野寺真智	森下美智子 (リウマチ膠原病)	うえむら 上村千鶴子	品原正幸	猪狩俊介
		2 診	うえむら 上村千鶴子		高知大 鈴木穂乃詩	細木秀美 (第4通) 予約のみ	担当医	うえむら 上村千鶴子 ～16:30	担当医	高知大 すけもり 祐盛湧希	猪狩俊介	高知大 前田理沙	担当医 岩崎泰正 (交代)
		3 診			高知大 小笠原史也								
	内 視 鏡				小野寺真智		小野寺真智						
	循環器内科 予約制 ☎088-845-5291		西本美香										
	総合診療科			溝淵 俊二									
	整形外科 予約制 ☎088-845-5291		高知大 田所伸朗 9:30～12:00										高知大 泉 仁 9:30～12:00
	小児科 小児科の受付 月・水・木・金は午後5:30まで 火は午後5:00まで		橋詰 稔 13:30～15:00 予防接種 (予約制)		高知大 篠田知周・江末希 (交代) 13:30～15:00 予防接種 (予約制)		橋詰 稔 13:30～15:00 予防接種 (予約制)		橋詰 稔 13:30～15:00 予防接種 (予約制)		橋詰 稔 13:30～15:00 乳児健診 (予約制)		橋詰 稔
	耳 鼻 咽 喉 科		横畠悦子	横畠悦子			横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子	横畠悦子	高知大医師
	皮 膚 科		安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美			安井喜美	安井喜美 14:30～ (第3週15:00～)	
	精神科 予約制 ☎088-845-5291								高知大 森田啓史				
	放 射 線 科		岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎		岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎
東館 1階	健 診		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		担当医	担当医	



令和7(2025)年12月予定			月		火		水	木		金		土	
			午 前	午 後	午 前	午 後		午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後
小 児 科 / 内 科			松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	定休日	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博
整 形 外 科												北岡和雄 (隔週)	

在宅療養支援診療所  
診療科目／内科

〒780-0926 高知市大膳町1-25 2階 予約・お問い合わせ ☎080-2990-1279  
診療時間／9:00～12:30、13:30～17:30 休診日／土、日、祝日

ご存じですか!? ソーシャルワーカーからのミニ情報

もしものために!  
知っておきたい「福祉避難所」



## 福祉避難所とは?

福祉避難所とは、一般的な避難所で生活を送ることが困難な方のために特別な配慮がされた避難所です。災害時、高齢者や障害のある方、乳幼児、妊産婦等、配慮が必要な方が避難でき、ベッドや個室、バリアフリーなど、対象者に配慮した工夫がされています。また、配慮を必要とする方が安心して過ごせるよう運営マニュアルの整備や訓練を実施しています。

## 福祉避難所はどこにある?

福祉避難所は、特別養護老人ホームやグループホームなどの高齢者施設、障害者支援施設、特別支援学校など普段から要配慮者が使用している施設を中心に市町村が指定しています。現在、高知市内では57カ所が福祉避難所として指定を受けています。福祉避難所に指定された施設は県や市町村のホームページで確認できます。当法人の「デイサービス・グループホーム さくらんぼ」も福祉避難所の指定を受けています。

## 気を付けたいこと!

- 福祉避難所は避難者の状況に応じて開設されるので、発災から開設までは数日かかることもあります。災害直後は、まず一般の避難所へ避難する必要があります。
- 福祉避難所は、専門的な支援や援護を必要とする方のための避難所です。一般の避難所で生活が可能な方は受け入れ対象となりません。
- 各福祉避難所ごとに、受け入れ対象者や受け入れ困難な方が決まっている場合があります(高齢者、医療行為が必要な方など)。あらかじめ市町村ホームページ等ご確認ください。

福祉避難所について詳しく知りたい方は、高知県ホームページ、もしくは患者サポート室までお問い合わせください。

事前に最寄りの避難所や福祉避難所を確認しておくことに加えて、ご自身にとって必要な持ち出し品の準備や地域の避難訓練への参加など、自助の取り組みもぜひ今一度ご検討をお願い致します。

(細木病院こころのセンター 精神保健福祉士 甲斐恵梨香)



【予約電話】 ☎088-873-3806 (小児科 ☎088-820-6780 / 健康管理センター ☎088-822-7264 / 北館 ☎088-802-3366)

令和7(2025)年12月予定 ※外来表は変更になる場合があります。				月		火		水		木		金		土	
				午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後
本館1階	外 科	1 診	尾崎信三 (乳癌・甲状腺)	尾崎信三	担当医	中村衣世	上地一平	尾崎信三	担当医	上地一平	担当医	尾崎信三	中屋美咲 (第2・4週)		
		2 診	中村衣世												
	緩和 ケ ア 科 完全予約制 ☎088-873-3806			安藤 徹											
	痛みの外来(ペインクリニック)					細川滋俊						細川滋俊	新		
	整 形 外 科 午後の診療と土曜日は手術等 で変更や休診になる場合あり	1 診	北岡和雄	担当医	三宮将典	北岡和雄	山川晴吾	担当医	三宮将典	高知大教授 池内昌彦 予約のみ	北岡和雄	中前 杏	高知大 喜安克仁		
		2 診	山川晴吾	山川晴吾 (小児整形外科)	塩田尚史	高知大 泉 仁	塩田尚史		塩田尚史	担当医	北村亜以	北村亜以	塩田尚史		
1 3 階	放 射 線 科			耕崎志乃	耕崎志乃	高知大 松本知博 9:00 ~ 12:00	高知大 仰木健太 13:30 ~ 16:30	耕崎志乃	耕崎志乃	耕崎志乃	高知大 おさき 大佛健介 13:30 ~ 16:30	耕崎志乃	耕崎志乃		
本館2階	総合診療科				矢野博子			上田祐二 (第1~3・5週) 白神 実	矢野博子	澤田 努 14:00 ~	上田祐二	矢野博子			
	一 般 内 科				森下美智子 (リウマチ膠原病) (第1・3・5週)	松田勇蔵 松本 顕	新			松田勇蔵		松本 顕	担当医 (2名)		
	循 環 器 内 科 ＜ほそぎハートセンター＞			古川敦子	西本隆史	細木信吾	細木信吾	山本哲史	山本哲史	古川敦子	細木信吾	山本哲史	宮地 剛	担当医	
	心臓リハビリテーション科			岸之上隆雄	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香		
	呼 吸 器 内 科			白神 実	小林 誠			小林 誠		白神 実	小林 誠	白神 実			
	糖 尿 病・内 分 泌 内 科			熊谷千鶴	西岡達矢 予約再診のみ	高知大教授 西山 充 (甲状腺外来)	西岡達矢 熊谷千鶴 篠原雅幸	西岡達矢	篠原雅幸 (第3・4・5週)	西岡達矢 (甲状腺外来)		篠原雅幸	熊谷千鶴	高知大 田口崇文 (甲状腺外来)	
	腎 臓 内 科								矢島愛治	高知大 かしお 榎尾 岳					
	新 肥 満 症 外 来				篠原雅幸					岸之上隆雄					
	小 児 科 予 約 制 ☎088-820-6780	1 診	細川卓利	堂野純孝	堂野純孝	堂野純孝	中岡祐子	堂野純孝	中岡祐子	中岡祐子	細川卓利	細川卓利	堂野純孝		
		2 診	齊藤由実	齊藤由実 ~ 16:00	藤枝幹也	藤枝幹也	高知大医師	高知大医師	竹内愛那		竹内愛那	堂野純孝	午後5時 診察あり		
		3 診						中岡祐子 4F 予防接種		竹内愛那 (小児アレルギー外来) ~ 15:00		竹内愛那 (小児アレルギー外来) ~ 15:00	堂野純孝 ~ 14:30		
	神 経 小 児 科 予 約 制 ☎088-820-6780				細川卓利						細川卓利			午後のみ診察 細川卓利 ~ 15:00	
	小児専門外来 予 約 制 (低身長・甲状腺等) ☎088-820-6780							新井淳一	新井淳一	新井淳一	新井淳一			午後5時診察あり 新井淳一 ~ 15:00(月2回)	
	小児こころの外来 完全予約制 ☎088-820-6780						中岡祐子					中岡祐子	島崎真弓 中岡祐子		
本館4階	脳 神 経 外 科					栗坂昌宏 (検査)	高知大教授等		栗坂昌宏		栗坂昌宏				
	耳 鼻 咽 喉 科			兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光		梶 敬蔵	梶 敬蔵	兵頭政光 (第2・3・4・5週)	兵頭政光 (第2・3・4・5週)	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光 (第2・4週)	
	泌 尿 器 科			矢島愛治	あしだ 蘆田真吾	あしだ 蘆田真吾	矢島愛治		矢島愛治		矢島愛治		高知大医師		
本館5階	健 診・人 間 ド ッ ク (健康管理センター) 完全予約制 ☎088-822-7264			森下延真	松田勇蔵	森下延真		森下延真	森下延真	森下延真	森下延真 弘瀬祥子	森下延真			
	乳 が ん 子宮がん			中村衣世						中村衣世		尾崎信三	担当医		
本館6階	美 容 皮 膚 科 予 約 制 ☎088-822-7211			三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	※ピーリングを除く再診の 施術(2回目以降)のみ		三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	※問い合わせ ください	
	内 視 鏡 検 査 室			しょうぶ 常風友梨 (大腸内視鏡)		上田祐二		弘瀬祥子	佐竹朋美	高知大教授 宮地英行		弘瀬祥子			
北館1階	歯 科 完全予約制 ☎088-802-3366			細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	山本哲也 (口腔外科) 不定期	細木弓子	細木弓子		
	こころのセンター 9:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 16:00 に こころのセンター 受診相談窓口まで お電話ください。	精 神 科 心療内科	初診	河野裕子		山田眞子	峯瀬正祥 (ストレスケア外来)		峯瀬正祥	山田眞子	峯瀬正祥	河野裕子	吉岡 峯瀬 (第1週) ; (第2週) 山田 河野 (第3週) ; (第4週)		
			再診	吉岡隆興	山田眞子	河野裕子	峯瀬正祥	吉岡隆興	河野裕子	峯瀬正祥	新山勇太	新山勇太	峯瀬正祥	河野裕子	
皮 膚 科 / 形 成 外 科					野田理香 ~ 16:30			野田理香			池田光徳	野田理香		野田理香 (第1週)	